



Acronis Cyber Protect で行う セキュリティ・災害対策



あんぜん

アクロニス

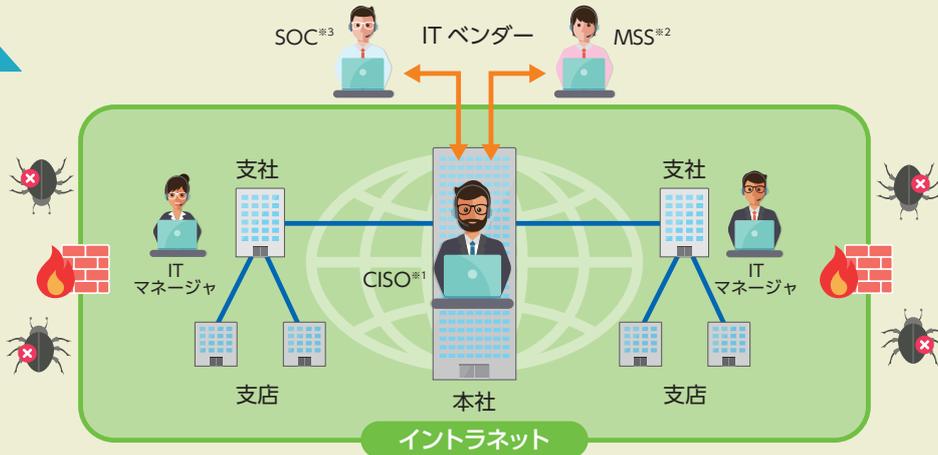
あんしん



テレワーク環境をターゲット

コロナ禍で変わったセキュリティ対策

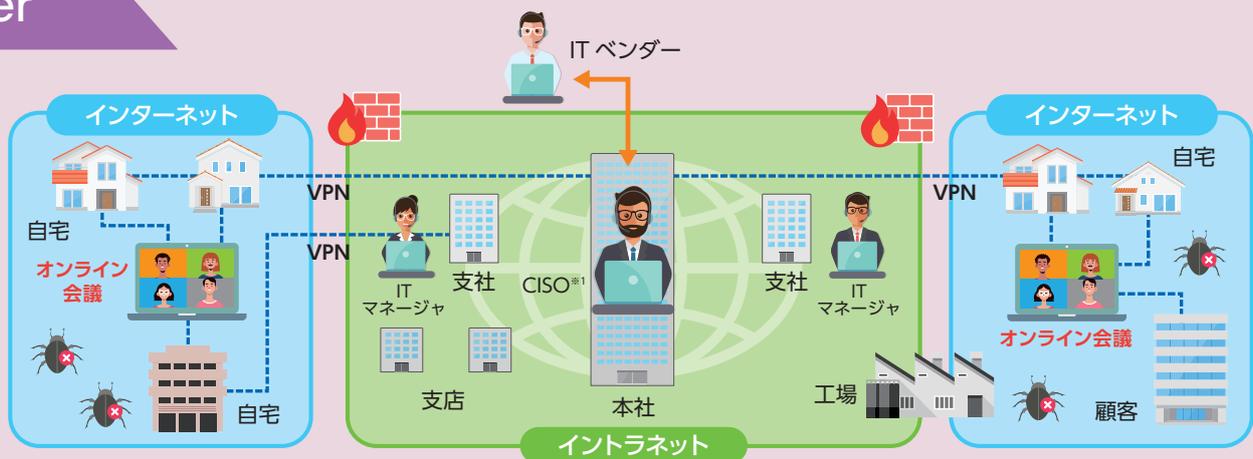
Before



従業員はファイアウォールで守られたオフィス内で勤務しており、セキュリティ対策を個々に考える必要はありませんでした。

セキュリティ対策はアンチウイルスやファイアウォールに加え、EDR 関連製品で不正なプロセスの監視をしていました。

After



緊急事態宣言など、急な在宅勤務への移行により、社内 PC をイントラネット外へ持ち出し、インターネット接続ができる環境が必須となりました。

従業員の多くがオフィス外で勤務するため、個々のクライアント端末で様々なセキュリティ攻撃に対処する必要が出てきたのです。

※1: CISO: 最高情報セキュリティ責任者 ※2: MSS: マネージドセキュリティサービス ※3: SOC: セキュリティオペレーションセンター

にしたランサムウェア被害が急増！！

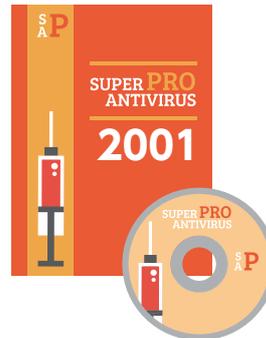
コロナ禍で急増！ランサムウェア被害



80%の企業がランサムウェア攻撃を受けていると言われます。



20%の企業は1日3回以上の攻撃を受けていると言われます。



99%のセキュリティ被害は、古いソフトウェアの脆弱性を突いたセキュリティ攻撃が原因と言われています。



ランサムウェアはバックアップデータを先に破壊してから不正なデータ改ざんを行います。そのため、システム復旧ができないケースが多く存在します。

独立行政法人情報処理推進機構 セキュリティセンターの提言

- 最新のソフトウェア・バージョンの使用・修正プログラムの適用
- セキュリティソフトの導入および定義ファイルの最新化
- パソコン内のアンチウイルスチェック
- パスワードの適切な設定と管理
- 不審なメールに注意
- USBメモリ等の取り扱いの注意
- 社内ネットワークへの機器接続ルールの遵守
- ソフトウェアをインストールする際の注意
- パソコン等の画面ロック機能の設定

※テレワーク環境でもソフトウェアの最新バージョンへの定期的なアップデートが最も重要なセキュリティ対策になります！

テレワーク環境下で考えなければならない課題

- コンピュータウイルスなどへの対策は？
- OSやアプリケーションの脆弱性は無い？
- 万が一ハッキングされても復旧できる？
- セキュリティ予算の大幅な増加が難しい中、脆弱な社外環境でいかに安全な業務環境を確保するか？

課題が



いっぱい



災害への備えはできていますか？

DR（災害対策）システムは大手企業だけでなく、国内のすべての企業に必要とされています！



温暖化などにより、10年前に比べて自然災害の被害総額は世界で3倍、日本では4倍以上に拡大していると言われています。



首都直下地震などの大規模災害では、企業の決算データや顧客取引情報などの重要なデータの消失は、すべての企業の事業継続に深刻な影響を与えます

災害に備えたデータバックアップの課題

- 勤務環境内でのデータバックアップはシステム障害には有効ですが、大規模自然災害に対しては、バックアップストレージごと破損しますので災害対策にはなりません
- クラウドストレージに二次バックアップを取っても、勤務環境にあるバックアップサーバなど管理システムが破損してしまえば、データを短期間に復旧することができなくなります

課題が



いっぱい

Acronis Cyber Protect で解決

コロナ禍や豪雨災害で、セキュリティや災害対策が必要なことは分かっている…でもテレワーク環境の整備や IT システムの更新などにお金が掛かり、これ以上 IT 予算を増やすことは難しいと言うお客様は多いはず…あまり追加予算を掛けずに、テレワークのセキュリティ対策も災害対策もできるソリューションはないかな？



あります！

「Acronis Cyber Protect」なら
バックアップ製品にセキュリティも
災害対策も**標準**でバンドルされています！

Acronis Cyber Protect とは？

次世代
サイバーセキュリティ



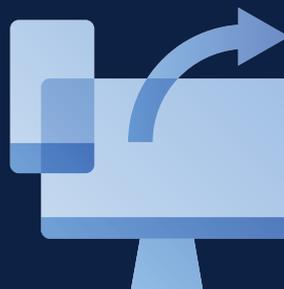
ゼロデイ攻撃を阻止する高度な AI ベースの振舞い検知エンジン、URL フィルタリング、脆弱性評価、パッチ管理、リモート管理。

信頼できる
バックアップと復元



セキュリティフォレンジックのための完全イメージおよびファイルレベルのバックアップ、障害復旧、メタデータ収集。

災害復旧



増大する自然災害に対応できるクラウドストレージへの二次バックアップ。

必要な機能だけを選択して利用することも可能

Acronis Cyber Protect なら リモートワークに必要な セキュリティ機能が揃っています

リモートワーク環境での PC のセキュリティ管理



- **99% のセキュリティ攻撃は古いソフトウェアをターゲットに！**
リモートワーク環境でも常に最新のバージョンの使用は必須！
- クラウド管理コンソール経由で PC の状況を常時モニタリング。
- 脆弱性管理、パッチ管理を自動保護計画で設定、対象端末のエージェントが自動で最新のバージョンにアップデートを実行。
- 代表的な 285* 種類以上のアプリケーションに対応。 *2022 年 6 月現在

アンチウイルスソフトの乗り換え

- **Acronis Cyber Protect のアンチウイルス機能はスイッチひとつで ON/OFF の切替が可能**

既存のアンチウイルスと Acronis Cyber Protect のエージェントは混在可能なため、乗り換えの際は既存のアンチウイルスソフトを段階的にアンインストールし、Acronis Cyber Protect のアンチウイルス機能を ON にするだけ。



セキュリティ攻撃に強いバックアップ



- マシンまるごと高速にイメージバックアップ。ランサムウェア対策機能でバックアップデータを保護。安全にシステムを復旧できます。
- **無償クラウドストレージの二次バックアップ災害対策が可能！**
※クラウドストレージは有償オプションで追加容量の購入が可能です。

Acronis Cyber Protect なら リモートワークに必要な 災害対策機能がっています

付属の無償クラウドストレージを利用した災害対策



- ・サブスクリプションライセンスには無償のクラウドストレージが付属しています。クラウドバックアップが可能ですので災害対策ソリューションとして利用できます。自然災害が急増している現在では必須の対策です。
- ・無償クラウドストレージの容量はライセンスによって異なります。(一例：サーバ・仮想ホスト：250GB / ワークステーション：50GB)
- ・無償の容量 = 製品あたりの無償の GB × 購入ライセンス数
- ・合計の容量 = 有償 (別売の Acronis Cloud Storage) の容量 + 無償の容量

アンチウイルス機能がバンドルされコスト削減に有効

- ・アンチウイルスソフトの購入不要、コスト削減に有効

Acronis Cyber Protect にはアンチウイルス機能がバンドルされています。そのため、マルウェアの感染などセキュリティリスクのある状態でのバックアップを避けることができ、BCP 対策として、より万全な体制を提供可能です。



バックアップデータもスキャンすることでセキュリティを強化



不正なプログラムを振る舞い検知エンジンでシャットアウト。重要なバックアップデータをランサムウェアなどから保護。安全にシステムを復旧できます。Advanced Edition にはバックアップデータをスキャンし、クリーンな状態でリストアする機能が付いています。セキュリティは多層防御が重要です。

Acronis Cyber Protect エディション比較

Acronis Cyber Protect 15 には下記の3つのエディションがございます。

		Acronis Cyber Protect - Backup Advanced	Acronis Cyber Protect Standard	Acronis Cyber Protect Advanced
バックアップ対象のサポート	ディスクレベルのバックアップ	✓	✓	✓
	ファイルレベルのバックアップ	✓	✓	✓
セキュリティ機能	Active Protection	✓	✓	✓
	ウイルス対策およびマルウェア対策保護		✓	✓
	エクスプロイト防止機能		✓	✓
	URL フィルタリング		✓	✓
	脅威フィールド		✓	✓
	リモートデバイスのワイプ		✓	✓
	HDDヘルスチェック		✓	✓
	データプロテクションマップ		✓	✓
	CDP Backup		✓	✓
	フォレンジックモード			✓
	マルウェアに対応するバックアップスキャン			✓
コールドホワイティスト			✓	
リモートモニタリングと マネジメント機能	Windows の脆弱性評価	✓	✓	✓
	サードパーティの Windows アプリケーションの脆弱性評価	✓	✓	✓
	Linux の脆弱性評価	✓	✓	✓
	パッチ管理		✓	✓
	フェイルセーフパッチ		✓	✓
	リモートデスクトップ, リモートアシスタント		✓	✓

セキュリティ機能、マネジメント機能は簡単に ON/OFF が可能です。

Acronis Cyber Protect ライセンス体系・価格

ライセンスの特長 Acronis Cyber Protect 15 は全てサブスクリプションライセンスでご提供致します。

製品	無償クラウドストレージ GB
Acronis Cyber Protect Standard (Workstations)	50
Acronis Cyber Protect Standard (Windows Server Essentials)	150
Acronis Cyber Protect Standard (Servers)	250
Acronis Cyber Protect Standard (Virtual hosts)	250
Acronis Cyber Protect Advanced/Acronis Cyber Protect - Backup Advanced (Workstations)	50
Acronis Cyber Protect Advanced/Acronis Cyber Protect - Backup Advanced (Servers)	250
Acronis Cyber Protect Advanced/Acronis Cyber Protect - Backup Advanced (Virtual hosts)	250

サブスクリプションライセンスは有効期間の以下のサービスを提供します。(ソフトウェアのご利用・ソフトウェアのアップデート・テクニカルサポートサービスのご利用)

サブスクリプションライセンスを更新するには、「リニューアルライセンスのご購入」が必要です。

Acronis Cyber Protect 15 サブスクリプションライセンスには左記容量の無償クラウドストレージが付属します。オプションの Acronis Cloud Storage で増設することも可能です。

ライセンス価格 Windows Essentials Server 用、Microsoft365 用ライセンス等も別途ございます。

	Server			Virtual Host			Workstation		
	1年	3年	5年	1年	3年	5年	1年	3年	5年
Acronis Cyber Protect Standard	¥63,100	¥135,200	¥191,500	¥64,400	¥138,000	¥195,500	¥8,600	¥22,400	¥31,700
Acronis Cyber Protect Advanced	¥90,500	¥194,000	¥274,800	¥247,300	¥529,000	¥749,400	¥12,600	¥32,400	¥45,900
Acronis Cyber Protect -Backup Advanced	¥76,900	¥164,900	¥233,600	¥215,000	¥460,000	¥651,700	¥10,500	¥27,000	¥38,300

Acronis

アクロニス・ジャパン株式会社

<https://www.acronis.com/ja-jp/>

